

デンマークが生んだ〈童話の王様〉アンデルセン
人生への深い〈洞察〉アンデルセンの童話

それは単純なお話のなかに、生きる事への喜びを教えてください。

作 ● アンデルセン
構成演出 ● 関矢幸雄
音楽 ● クニ河内
美術 ● 有賀二郎

あともの 時間はアンデルセン

このお芝居は、素劇という斬新な手法（アニメイムや、ペーブサート、人形もつかいます）で、楽しいお話にしあげました。

九人の俳優（妖精）が、アカペラコーラスで謳い、語り、進めていきます。

アニメイムって何？ 演出家関矢幸雄氏の生み出した、アニメーションとパントマイムからの造語です。身近にある棒とボールと輪を使って、みんなの知っている前で風景や動物を空間につくっていく遊びです。



お話は四つ

『マッチ売りの少女』

『パンをふんだ女の子』

『とうさんのすることはみんなよし』

『ある母親のものがたり』

♪とりかえっこ～取り替えっこ♪



☆もうひとつのversion

アニメイム遊び Version

四つのお話の中から、【二つのお話】と子どもたちが参加する【アニメイム遊び】で構成します。上演時間1時間10分

